

2022年5月10日

東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
株式会社インプレスホールディングス
代表取締役 松本大輔

吸収分割にかかる事前備置書類

(会社法第 794 条および会社法施行規則第 192 条に定める書類)

1. 吸収分割契約の内容
当社及び株式会社 Impress Professional Works (以下「分割会社」といいます) が 2022 年 4 月 26 日付で締結した吸収分割契約の内容は、別紙 1 のとおりです。
2. 分割対価の定め相当性等に関する事項
分割会社は、当社の完全子会社であるため、本分割に際して、株式その他の金銭等を交付しません。また、当社において資本金及び準備金の額は変動しません。
3. 株式を分割会社の株主に交付する旨の決議に関する事項
該当事項はありません。
4. 新株予約権の定め相当性等に関する事項
該当事項はありません。
5. 分割会社に関する事項
 - ① 最終事業年度に係る計算書類等の内容
別紙 2 のとおりです。
 - ② 臨時計算書類等があるときは、当該臨時計算書類等の内容
該当事項はありません。
 - ③ 最終事業年度末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容
該当事項はありません。
6. 当社の最終事業年度末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容
イカロス出版株式会社を、2021 年 8 月 2 日付の株式取得により当社の関係会社といたしました。
7. 吸収分割の効力発生日後における当社の債務の履行の見込みに関する事項
吸収分割の効力発生日後における当社の資産の額は、負債の額を十分に上回る見込みです。また、吸収分割後の当社の収益状況について、当社の負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現時点では予測されていません。
以上より、吸収分割の効力発生日後における当社の負担すべき債務について履行の見込みはありと判断します。

以上

別紙 1

吸収分割契約書

株式会社 Impress Professional Works（以下「IW」という）及び株式会社インプレスホールディングス（以下「IPH」という）は、IW の経営管理事業（以下「本事業」という）の吸収分割に関し、次のとおり本契約を締結する。

第 1 条（吸収分割）

IW は本事業を分割し、IPH は本事業を承継する（以下「本分割」という）。

第 2 条（分割当事会社の商号及び住所）

本分割にかかる分割当事会社の商号及び住所は、次のとおりである。

① 吸収分割会社

商号：株式会社 Impress Professional Works

（2022年7月1日付で「株式会社 IPG ネットワーク」に商号変更予定）

住所：東京都千代田区神田神保町一丁目 1 0 5 番地

② 吸収分割承継会社

商号：株式会社インプレスホールディングス

住所：東京都千代田区神田神保町一丁目 1 0 5 番地

第 3 条（本分割の期日）

本分割の期日は、2022年7月1日（以下「本分割期日」という）とする。ただし、本分割手続きの進行に応じ必要があると認められるときは、IW 及び IPH が協議のうえ、これを変更することができる。

第 4 条（本分割の対価）

IPH は、本分割に際し、IW に対して株式、金銭その他の財産の割当は行わない。

第 5 条（承継する権利義務）

- IPH は、本分割に際し、別紙記載の本事業に属する資産、債務、契約、その他の権利義務（以下「本権利義務」という）を IW より承継する。なお、本権利義務については、2022年3月31日現在の IW の貸借対照表その他同日現在の計算書類を基礎とし、これに本分割期日の前日までの増減を加除したうえで確定する。
- IW から IPH への債務の承継については、重疊的債務引受の方法によるものとし、本分割後、IW が IPH に承継させた債務については、IW 及び IPH は連帯債務者として責任を負う。

第 6 条（本分割の承認）

IW 及び IPH は、本分割期日の前日までに、それぞれ、本契約の承認及び本分割に必要な事項に関する機関決定を行うものとする。

第 7 条（本分割条件の変更、本契約の解除）

本契約締結の日から本分割期日に至るまで、天災地変その他の事由により、IW 又は IPH の財産もしくは経営状態に重大な変動が生じたとき、又は本分割の実行に重大な支障となる事態が生じたときは、IW 及び IPH が協議し、合意のうえ、本分割の条件を変更し又は本契約を解除することができる。

第8条（競業避止義務の免除）

IW は、本分割にかかわらず、IPH に対し、競業避止義務を一切負わないものとする。

第9条（本契約の効力）

本分割は、第6条に定める本契約の承認が得られないときは、その効力を失う。

第10条（協議）

本契約に定める事項のほか、本分割に関し必要な事項は、IW 及び IPH が協議のうえ、これを決定する。

第11条（裁判管轄）

本契約は日本法に準拠し、日本法に従って解釈され、本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

本契約の成立の証として本書1通を作成し、当事者双方記名押印のうえ、IPH が原本を、IW がその写しをそれぞれ保有する。

2022年4月26日

IW： 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
株式会社 Impress Professional Works
代表取締役社長 土田米一

IPH： 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
株式会社インプレスホールディングス
代表取締役社長 松本大輔

【別紙】

(承継する権利義務)

本分割期日において、IPH が本分割により IW から承継する本権利義務については、法令もしくは契約上承継できないものを除き、次に定めるとおりとする。

本権利義務のうち、資産及び負債については、2022年3月31日現在の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに分割期日の前日までの増減を加除した上で確定する。なお、債務の承継については、重疊的債務引受の方法によるものとする。

1. 承継する資産

(1) 流動資産

本事業に属する現金及び預金、売掛金、前払費用、短期貸付金、立替金、その他一切の流動資産。

(2) 固定資産

① 有形固定資産

本事業に属する器具備品、その他一切の有形固定資産。

② 無形固定資産

本事業に属するソフトウェア、その他一切の無形固定資産。

③ 投資その他資産

本事業に属する差入保証金、その他一切の投資その他資産。

2. 承継する負債

(1) 流動負債

本事業に属する未払金、未払費用、短期借入金、預り金、賞与引当金、その他一切の流動負債。

(2) 固定負債

本事業に属する退職給付引当金、長期借入金、長期預り金。

3. 承継する雇用契約

次の部門に所属する本事業に主として従事する全ての従業員との雇用契約。また、承継する従業員は、本分割期日時点において、引き続き在籍している者に限る。

グループ総務部、グループ法務部、グループ人事部、グループ財務経理部、グループ技術部

4. 承継する権利義務

本事業に属する取引の基本契約及び付随する契約、覚書、その他一切の契約における契約上の地位及びそれに付随する権利義務。

以 上

第 7 期
事 業 報 告

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

株式会社 Impress Professional Works

事業報告

〔 自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日 〕

1. 当期業績の概況

当社の主たる売上としましては、グループ会社からの管理業務受託料、事務所賃貸料等のファシリティ使用収入やネットワークインフラ利用による運営利用収入、また主な費用としましては人件費や物流関連費、ネットワークインフラの保守費並びにファシリティ資産の減価償却費となっております。

その結果当会計期間は、グループ会社からの業務受託手数料収入及び運営収入により1,061,181千円の売上高を計上、販売費及び一般管理費は、人件費や業務受託による物流関連費を中心に1,094,988千円となったことにより、経常損失は27,871千円となりました。法人税、住民税及び事業税は連結納税制度を採用していることにより、1,069千円増加し、当期純損失は28,940千円となりました。

2. 業績推移

	2018 年度 第 5 期	2019 年度 第 6 期	2020 年度 第 7 期 (当 期)
売上高 (千円)	997,737	1,028,467	1,061,181
経常損失(△) (千円)	△7,746	△2,656	△27,871
当期純損失(△) (千円)	△7,320	△3,115	△28,940
1 株当たり当期純損失(△) (円)	△12,200.05	△5,192.73	△48,234.99
純資産 (千円)	306,682	303,567	274,626
総資産 (千円)	1,046,919	1,108,791	983,388

3. 設備投資等の状況

(1) 当期の重要な設備の新設

設備の内容	投資金額 (千円)
印税管理システム開発	19,889
神保町三井ビル 工事・什器	2,849

(2) 当期の重要な設備の除却

該当事項はありません。

(3) 重要な設備投資の計画

設備の内容	投資予定金額 (千円)
神保町三井ビル改装	150,000

4. 資本金の推移

	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年3月	-	600	-	30,000	-	-

(注) 期中の変動はありません。

5. 借入金の状況

(1) 親会社 (IPH) からの借入金

契約形態	当期末残高 (千円)	当期首残高 (千円)
金銭消費貸借契約	146,160	286,240

(2) その他借入金

該当事項はありません。

6. 従業員の状況

従業員数	期首比増減数
46 名	+2 名

(注) 役員は含まず、契約社員及びアルバイトを含みます。

7. 役員の状況

代表取締役社長 土田 米一、取締役 山手 章弘、取締役 有田 健二、取締役 佐々木 一幸、
取締役 井上 里奈、監査役 佐々木 敬

8. 当期に発生した重大なリスク及び重要な契約の締結

現在係争中の事項

該当事項はありません。

当期中に発生したコンプライアンス違反等

該当事項はありません。

9. 次期の計画

経営管理及び販売管理業務の集約により業務標準化を進め、効率化及び運営体制の強化を図り、
グループインフラの集約によるスケールメリットを生かしたコスト削減により、経常黒字を目指し
ます。

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	増 減
売上高 (千円)	1,061,181	1,163,231	+102,050
営業利益 (千円)	△33,806	13,640	+47,446
経常利益 (千円)	△27,871	11,011	+38,882

10. その他事業報告の内容を補足する重要な事項（*事業報告に係る附属明細）

該当事項はありません。

-
- (注) 1. 本事業報告に記載の金額及び株式数並びに比率は、単位表示未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 記載金額には、消費税等は含んでおりません。

計 算 書 類

第 7 期

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

- ・ 貸借対照表
- ・ 損益計算書
- ・ 株主資本変動計算書
- ・ 個別注記表

株式会社 Impress Professional Works
東京都千代田区神田神保町1-105

貸 借 対 照 表

2021年3月31日 現在

株式会社 Impress Professional Works

(単位：千円)

科 目	当期末	科 目	当期末
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	264,309	流動負債	198,074
現金及び預金	7,673	1年内返済長期借入金	40,080
売掛金	86,722	未払金	94,861
短期貸付金	106,384	未払法人税等	356
未収入金	57	未払消費税等	19,201
前払費用	59,262	未払費用	7,553
その他	4,208	前受金	14,728
		預り金	3,454
		賞与引当金	17,819
		その他	18
固定資産	719,078	固定負債	510,688
有形固定資産	238,839	長期借入金	106,080
建物	123,386	退職給付引当金	107,034
工具器具備品	115,452	長期預り金	297,573
無形固定資産	39,899	負債合計	708,762
ソフトウェア	36,502	(純 資 産 の 部)	
電話加入権	3,396	株主資本	274,626
投資その他の資産	440,340	資本金	30,000
差入保証金	435,562	資本剰余金	450,000
長期前払費用	4,777	その他資本剰余金	450,000
		利益剰余金	△205,373
		その他利益剰余金	△205,373
		繰越利益剰余金	△205,373
		純資産合計	274,626
資産合計	983,388	負債・純資産合計	983,388

損 益 計 算 書

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

株式会社 Impress Professional Works

(単位 : 千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,061,181
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,094,988
営 業 利 益		△33,806
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	34	
出 資 金 運 用 益	273	
雑 収 入	8,321	8,629
営 業 外 収 益		
支 払 利 息	2,673	
雑 損 失	20	2,693
経 常 利 益		△27,871
税 引 前 当 期 純 利 益		△27,871
法人税、住民税及び事業税	1,069	1,069
当 期 純 利 益		△28,940

株主資本等変動計算書

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日

株式会社 Impress Professional Works

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金	利益剰余金 合計		
					繰越利益剰余金			
当期首残高	30,000	0	450,000	450,000	△176,432	△176,432	303,567	303,567
事業年度中の変動額								
当期純利益	0	0	0	0	△28,940	△28,940	△28,940	△28,940
当期変動額合計	0	0	0	0	△28,940	△28,940	△28,940	△28,940
当期末残高	30,000	0	450,000	450,000	△205,373	△205,373	274,626	274,626

個別注記表

【重要な会計方針に係る事項】

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法又は定額法

耐用年数及び償却率は、経済的実態に基づき選択しております。

無形固定資産 ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用期間（2～5年）に基づく定額法を採用しております。

2. 重要な引当金の計上基準

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当会計年度の負担額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職時に支給する退職金の支出に備えるため、当会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

3. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 連結納税制度の適用

当社は、親会社である㈱インプレスホールディングスを親法人として、連結納税制度を適用しております。

【貸借対照表に関する注記】**1. 関係会社に対する金銭債権債務**

短期金銭債権	193,721千円
短期金銭債務	50,373千円
長期金銭債務	403,653千円

【損益計算書に関する注記】**1. 関係会社との取引**

営業取引による取引高の総額 1,085,873千円

【株主資本等変動計算書に関する注記】**1. 当事業年度の末日における発行済株式の総数**

株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	600株	- 株	- 株	600株

2. 剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

【一株当たり情報に関する注記】

1. 一株当たり純資産 457,710.07円

2. 一株当たり当期純損失 △48,234.99円

【重要な後発事象に関する注記】

該当項目はありません。

以上

計算書類に係る附属明細書

第 7 期

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

株式会社Impress Professional Works

東京都千代田区神田神保町 1 - 1 0 5

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区 分	資 産 の 種 類	期 首 帳簿価額	当 期 増加額	当 期 減少額	当 期 償却額	期 末 帳簿価額	減損損失 累 計 額	減価償却 累 計 額	期 末 取得原価
有 形 固定資産	建 物	155,745	550	-	32,908	123,387	-	102,804	226,191
	器 具 備 品	142,273	7,729	-	34,549	115,453	305	280,672	396,430
	計	298,018	8,279	-	67,457	238,840	305	383,477	622,622
無 形 固定資産	ソ フ ト ウ エ ア	30,457	19,889	-	13,844	36,502	161,475	444,916	642,893
	ソフトウェア仮勘定	19,889	-	19,889	-	-	-	-	-
	計	50,347	19,889	19,889	13,844	36,503	161,475	444,916	642,893

(注) 1. 当期増加額のうち主なものは次のとおりであります。

建物……………	神保町三井ビル23F レイアウト変更工事	550 千円
器具備品……………	ファイルサーバリプレイス機材	2,900 千円
	神保町三井ビル 什器	2,299 千円
	リモート会議システム機材	1,666 千円
	データセンター設置機材	864 千円
ソフトウェア……	印税管理システム開発（仮勘定から振替による）	19,889 千円

2. 引当金の明細

(単位：千円)

区 分	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	13,098	17,819	13,098	-	17,819
退 職 給 付 引 当 金	92,590	15,733	1,290	-	107,034

3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	27,595	
給与手当及び賞与	254,024	
福 利 厚 生 費	46,763	
業 務 委 託 費	57,716	
賞与引当金繰入	17,819	
株 式 報 酬 費 用	1,473	
退 職 給 付 費 用	11,993	
地 代 家 賃	107,578	
水 道 光 熱 費	1,614	
消 耗 品 費	154,381	
賃 借 料	14,191	
通 信 費	5,354	
減 価 償 却 費	81,302	
租 税 公 課	4,438	
旅 費 交 通 費	271	
支 払 手 数 料	27,581	
接 待 交 際 費	44	
顧 問 料	8,980	
倉 敷 料	103,239	
物 流 関 連 費	135,001	
グループ外販売経費	2,548	
事 務 委 託 費	22,874	
そ の 他	8,197	
合 計	1,094,988	

4. その他の重要な事項

該当事項はありません。

監査報告書

株式会社 Impress Professional Works
代表取締役社長 土田米一 殿

私 監査役 佐々木敬は、2020年4月1日から2021年3月31日までの第7期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2021年5月24日

株式会社 Impress Professional Works

監査役 佐々木 敬 ㊞